

課題概要説明シート

令和3年度 CO-CREATION KOBE Project【課題②】

課題名	介護施設等における職員の業務負担軽減につながるAI・ロボットの活用	
担当部署	福祉局介護保険課	
課題を抱える事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険は、介護が必要な方に介護費用の一部を給付する制度であり、市が指定する施設や事業所において提供されるサービスを契約に基づき利用する。 ・「利用者の自立支援」・「利用者本位のサービス利用」（自ら選択してサービスを受けられる）・「社会保険方式の採用」を基本的な考え方としている。 	
解決したい課題の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月の有効求人倍率において、「介護サービスの職業」は 兵庫県3.58倍（全国3.87倍）と高く、人材確保は喫緊の課題。 ・介護・障害福祉サービスの現場では、コロナ禍において市民の日常生活を支えるために欠かせないサービスとしての重要性が増しており、重症化リスクの高い高齢者・障害者が利用されるため感染防止策の徹底が必要。 ・介護職員の負担が増加しており、市民が安心してサービスを利用できるようICT技術も活用しながら負担軽減を図ることが重要。 	
これまでに実施したことがある施策等	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 国・県・市の役割分担のもと、これまで様々な介護人材確保策と兵庫県の受付による労働環境改善事業（介護ロボット導入補助・ICT化補助）等を実施。R3年度からは市独自のICT化補助制度も創設。 ▪ 神戸市では、介護人材確保プロジェクト「コウベdeカイゴ」と銘打って、コロナの影響により離職された方への早期再就職支援のための給付金制度を創設するなど、働きやすい職場づくりも含めた様々な施策を展開。 	
市が希望する提案の例	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市内介護施設にて下記基準に基づきAIを活用するロボットを配置 例）自律走行を行い、内蔵センサーにより利用者のデータを収集・分析、支援に必要な情報をアウトプットする。 利用者のデータを収集する際にも様々な関わりにより職員の負担軽減を図るとともに、支援に必要な情報のアウトプットによりケアの質を高めることにもつながるような活用が出来ることが望ましい。 <p>【募集基準】</p> <p>【設置する機器の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の精神的な生活の質の向上（心のケア）に資するもの ・入居者の運動・または発語機能の改善に資するもの ・入居者の見守り機能を有するもの ・メンテナンスや運用にかかる介護職員の負担が少ないこと <p>【設置場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 複数の市内介護施設 <p>【効果検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 職員の負担軽減の効果検証方法の提案 	
事業実施にあたっての留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 事前に試験実施を行う介護施設等と実施時期などの詳細を調整することが必要。 	
参考情報 (関連ホームページや市の計画等)	名称	URL
	市HP_介護保険の情報	www.city.kobe.lg.jp/a46210/kenko/fukushi/carenet/in